



学校だより

清流

立山町立立山中央小学校

令和4年9月

大きく育て心とからだ ～ 思いやりのある子に ～

教頭 村井 政雄

「おはようございます！」右の写真は、子どもたちが玄関の出入り口に並んで「あいさつ運動」に取り組んでいる様子です。

挨拶は、人と人の「心をつなぐ言葉」だと思います。「おはよう」「ありがとう」「こんにちは」「すみません」「さようなら」「いただきます」「ごちそうさま」等々・・・どれにも、深い意味があり、子供たちと共に、大切にしていきたいものと考えています。



子供たちにとって、「おはようございます」「いただきます」「ごちそうさま」「さようなら」の挨拶だけでも、年間 200 日登校したとすると、一日4回×200日×6年＝4800回もの挨拶をしている計算になります。さらに、授業はじめの「はじめましょう」や授業終わりの「終わりましょう」の挨拶も合わせてみると、学校においては、さらに多くの挨拶をする機会に恵まれていることがわかります。

また、挨拶を交わし合うことができると、何とも言えないうれしさや安心感に満たされた気持ちになるのは私だけではないと思います。挨拶を通して「自分の存在を肯定的に意識する」ことができるからだと思います。また、人は、他人からその存在を認められて、はじめて「自分は生きている」ことを実感できるのではないのでしょうか。

私たちは、揺れている枝葉を見たり、音を聞いたり、空に浮かぶ雲の動きに見入ったりして「風」の存在を知ります。同じように、「人の心」は目で見ることはできません。人の心を感じ取ることができる一つの手段としても挨拶があるのだと思います。挨拶をすることで、「私は、あなたをしっかりと見ていますよ」という、思いやりのメッセージを伝えることができるのではないのでしょうか。

そして、こうした、「相手を思いやる気持ち（メッセージ）」としての挨拶が交わされる毎日を積み重ねていくことで、なかなか自然に挨拶の声が出ない子も、まだまだ挨拶の声が小さい子も、次第に、場面に合わせた気持ちのよい挨拶ができるようになってくるものと信じています。

ぜひとも、子供たちの力で、この地域を挨拶いっぱいの元気な地域にしていきたいと思っています。まずは、ご家庭から元気な挨拶で子供たちを送り出してください。よろしくお願いします。

8・9月の中央っ子の活動の様子から

運動会の練習をがんばっています

運動会〔10月8日（土）開催予定〕に向けて、練習をがんばっています。スポーツの秋を満喫しています。



リレーの練習の様子です



9月14日（水）に団結式を行いました



応援パフォーマンス練習の様子です

朝集会を行っています

分散しながら集まる機会を設けています。みんなで集まったときの整列の仕方や話の聞き方が上手になってきました。



下学年集会の様子です



上学年集会の様子です

校外学習（国立立山青少年自然の家） ～ 仲間と協力して活動し、自然に親しむ機会となりました ～

5年生の活動の様子です
（8月30日（火）～31日（水））

6年生の活動の様子です
（9月12日（月）～13日（火））



この他にも、子供たちの学習活動の様子を学校ホームページに掲載しています。

ぜひ、ご覧ください。【 ホームページアドレス <https://tateyama-chuo-e.edumap.jp/> 】